## 広島教区 『見よ、それはきわめてよかった -総合的なエコロジーへの招き』出版記念講演会 報告

日時: 2024年9月22日 11:00~12:30

場所:幟町教会 カトリック会館 多目的ホール

講師:原田豊己神父 カトリック中央協議会 事務局

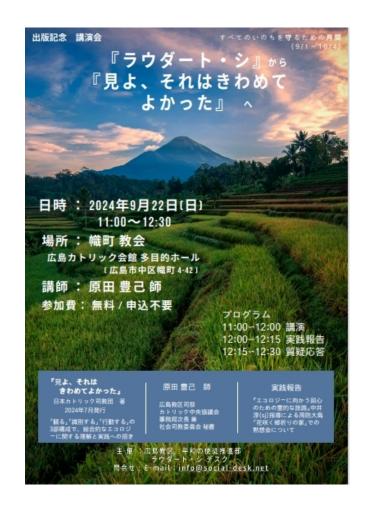
次長 社会司教委員会 秘書

参加者:約45名

内容:①参加者全員による「すべてのいのちを守るためのキリスト者の祈り」

②『見よ、それはきわめてよかった』出版記念の YouTube:カトリック中央協議会「ラウダート・シ」 デスク担当の成井司教様とアベイヤ司教様のお話し ③原田神父様の講話

④広島教区「ラウダート・シ」デスクの実践報告



### 原田豊己神父様の講話(1)

フランシスコ教皇が、2015年に回勅『ラウダート・シーともに暮らす家を大切に一』(日本語訳2016)を公布、同年8月6日 「被造物を大切にする世界祈願日」を、9月1日に制定されたのは、気候変動に伴う自然災害が問題視され、地球環境が悪化している現実を、警告として不安を煽るものではなく、人々を励ますためです。

そして、わたしたちが何をすべきか問い直し、「神」と「他者」と「自然」と「自分自身」との関係を総合的(インテグラル)エコロジーとして捉えるよう示されたのです。



ローマ教皇フランシスコ (写真: Korea.net / Jeon Han)

# 見 れ 日本カトリック司教団

#### 原田豊己神父様の講話(2)

中央協では、それをわかりやすく伝えるために、今回『見よ、それはきわめてよかった』を日本カトリック司教団の文書として出版しました。「観るSEE」「識別するDISCERN」「行動するACT」の3章からなるこの司教文書は、今までの神との関係(祈る・ミサに出る・教会の仕事に関わる)と同じように、他者との関係、様々な社会問題(ウクライナや中東問題ミャンマー、原爆の製造から被爆者、グローバルヒバクシャ、マイクロプラスティック、自然環境問題など)にも目を向けるよう招いています。

社会で起こっていることを知らないだけで実は、わたしたちも繋がっているという事実を知ることから、総合的(インテグラル)エコロジーへと続くのです。

#### 原田豊己神父様の講話(3)

わたしたちが、社会の中で、様々な問題に直面した時、神と他者と自然と自分自身と調和ある関係を意識することで、それぞれが、総合的な(インテグラル的な)中で生きていく(実践)に導かれるこの司教文書は、多くの人に読んでいただきたいと思いました。また、結論はなくてもいい。答えがあるわけではない。

それでもいい。わたしたちは、神の価値観が、判断基準となるよう導かれているというお話に、これからカトリック教会が、神からのいのちを大切にする社会への構築を目指し、ともに歩んで行こうとしているベクトルを感じました。



## 広島教区「ラウダート·シ」 デスクの実践報告

最後に、広島教区「ラウダート・シ」デスク 主催の周防大島黙想会『エコロジーの霊性を育 むプロジェクト』の報告をいたしました。

この黙想会は、下関ロクスひよりやまキャプテン中井淳sj指導で、テキスト『エコロジーに向かう回心のための霊的な旅路』を用いています。豊かな自然の中で、主を賛美し感謝できる時を、ともに過ごしましょう!

報告:広島教区「ラウダート・シ」デスク事務局



山口周防大島 花咲く郷 祈りの家